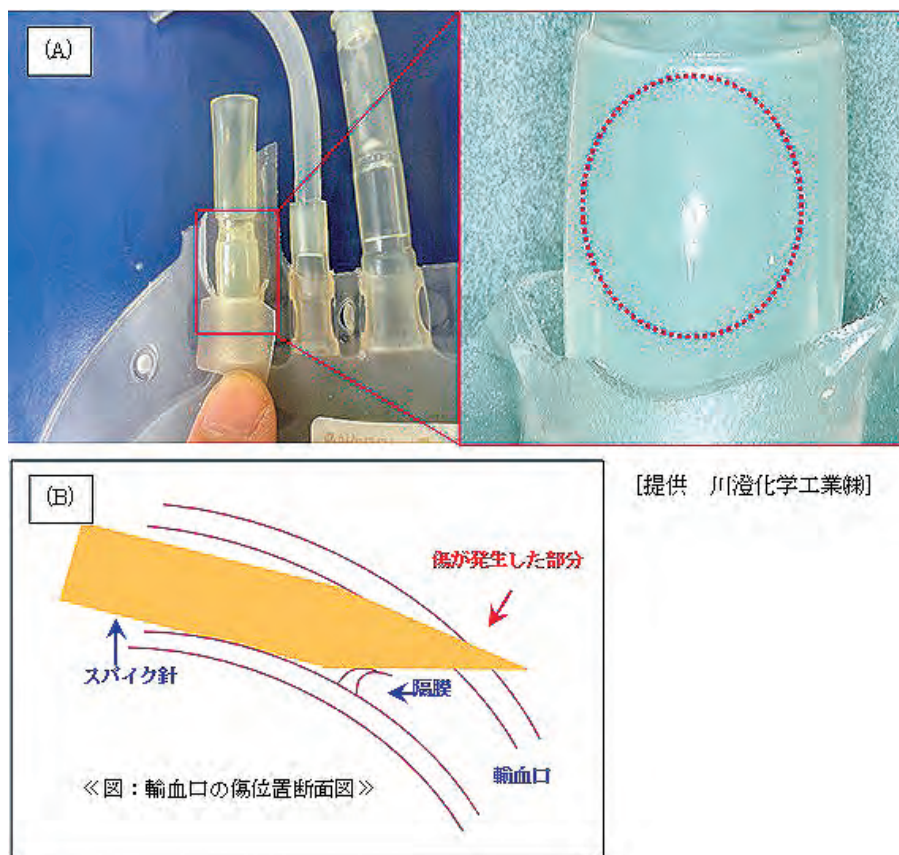


苦情品の精査から判明した輸血製剤のリークの原因



竹林 恒平 矢舗 久美 西村 拓史 栗木原修治 大熊 重則
椿 和央

中四国ブロック血液センター

キーワード：リーク，輸血セット，苦情品調査

Ir-RBC-LR-2が輸血中に漏れ出し輸血を中止した苦情品が発生した。引き取った当該製剤について、輸血セットの挿入口に隙間がないこと、輸血口のピールタブ内側よりリークがあることを確認した。製造部門及び販売部門への調査で、製造・保管・搬送工程中において漏れや外観異常はなかったことを記録と聞き取りにより確認した。

川澄化学工業にてリーク部分の断面を精査したところ、輸血口内側から外側に向かって傷が発生していることが確認された(A)。原因としては、輸血口にスパ

イク針を挿入する際、斜めにして挿入したため輸血口を傷つけたことが推測された(B)。サンプルバッグとスパイク針を用いて再現テストを実施した結果、当該品と同等の傷が発生する事が確認出来た。

今回のリークは、スパイク針挿入時の輸血口の傷が外側まで達して血液が漏れ出た可能性が高い。バッグに輸血セットを挿入する際は、平らな場所で血液バッグを横に寝かせた状態で輸血口をまっすぐに保ち、スパイク針をねじりながら差し込む必要がある¹⁾。

血液センターとしては、これからも、臨床輸血現場

の関係者に対し、輸血セットの接続法等の技術的な情報提供を行っていきたい。

著者の COI 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

文 献

- 1) 輸血方法（輸血セットの使い方）、輸血用血液製剤取り扱いマニュアル、日本赤十字社、2017, 5.

CAUSE OF THE LEAK OF THE BLOOD PRODUCT WHICH BECAME CLEAR FROM THE CLOSE INSPECTION OF THE COMPLAINT PRODUCT

Kohei Takebayashi, Kumi Yashiki, Takushi Nishimura, Shuji Awakihara, Shigenori Ohkuma and Kazuo Tsubaki

Japanese Red Cross Chugoku-shikoku Block Blood Center

Keywords:

Leak of the blood product, Blood transfusion set, Inspection of the complaint product

©2018 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>